

# 総合臨床研修センター



センターHP



## 1. スタッフ

センター長(教授) むこうやま まさし 向山 政志  
 副センター長(特任教授・准教授)  
 吉田 直矢  
 柿添 豊  
 特任助教 尾池 史  
 事務職員 4名、事務補佐員 6名

## 2. センターの特徴

熊本大学病院が担う「優れた医療人育成」という社会的使命を果たす目的で、平成14年に正式設置された。医師、研修医、学生、メディカルスタッフを対象に卒前教育、卒後研修に加え、生涯学習も含めた臨床教育を支援し、中央診療棟の7階に種々のシミュレーター機器とカンファレンス室、演習室等を備えた臨床研修の複合施設として機能している。令和5年度は、①卒前教育では、世界標準に向けた臨床実習の拡充を目指す我が国の方針を受け、医学生の実習やシミュレーション教育実施の支援を行った。②卒後研修では、初期臨床研修制度に則った魅力ある研修を目標に、熊本大学病院群卒後臨床研修プログラムを充実（希望者を対象に準夜帯の救急研修の開始・研修医の処遇改善の実施）させ、管理・運営した。また、研修指導医を対象に、臨床研修指導医講習会を開催し、県内の医師育成事業を支援した。③生涯学習では、生涯教育・研修医セミナーを定期的に開催し、研修医だけでなく日本医師会の生涯教育にも携わり、医療人の能力向上に努めた。また、臨床カンファレンスでは、診療部門、診療科を超えた連携のできる医療人の育成を目指し、新たなテーマで横断的な教育カンファレンスに関わった。④その他の院内の医療教育に携わり、看護師、薬剤師、メディカルスタッフ、職員等の教育施設として機能を発揮した。

なお、令和5年度にセンターの下に、最新のシミュレーターをそなえた低侵襲医療トレーニングセンター及び遠隔診療トレーニングセンターを設置し、低侵襲医療及び遠隔診療に対応可能な人材育成のため医学部学生及び研修医を対象に講習会を開始した。



ロボット支援手術講習会

FoCUS 講習会



## 3. 研修体制

令和5年度熊本大学病院群の研修医数は27名(医科19名(1年次12名、2年次7名)、歯科8名)であった。①医科研修プログラムは、自由設計コース及び小児科・産婦人科特化コース並びに総合診療・地域医療特化コースが用意され、研修医各人の希望に応じて選択することが可能となっている。熊本大学病院各診療科に加え、熊本県内外の研修協力病院及び研修協力施設と密に連携することによって、様々な現場での幅広い研修を行い、医師としての適性と将来の選択肢を考えることが可能なプログラムとなっている。②歯科研修プログラムは、単独型研修方式熊大2年コース(プログラムA)と、単独型研修方式熊大1年コース(プログラムB)を提供している。

## 4. 活動実績

- 4月 研修医オリエンテーション  
卒後臨床研修管理委員会
- 6月 第96回生涯教育・研修医セミナー  
(全参加者数74人)  
卒後臨床研修プログラム説明会  
専門研修プログラム説明会  
歯科プログラム説明会  
第1回FoCUS講習会
- 7月 医科研修医選考試験  
第52回臨床カンファレンス  
第97回生涯教育・研修医セミナー  
(全参加者数69人)
- 8月 歯科研修医選考試験
- 9月 全国共用試験 OSCE  
第77回CPC(臨床病理検討会)  
第2回FoCUS講習会  
4年生向け説明会
- 10月 第98回生涯教育・研修医セミナー  
(全参加者数43人)  
ロボット手術トレーニング
- 11月 第53回臨床カンファレンス
- 12月 臨床研修指導医研修ワークショップ  
輸液セミナー  
第99回生涯教育・研修医セミナー  
(全参加者数48人)  
第54回臨床カンファレンス  
採用予定者への病院説明会  
血管造影シミュレータートレーニング
- 1月 第100回生涯教育・研修医セミナー  
(全参加者数45人)  
第78回CPC(臨床病理検討会)

- 2月 第54回臨床カンファレンス
- 3月 研修医修了式
  - 第101回生涯教育・研修医セミナー  
(全参加者数47人)
  - 第3回FoCUS講習会

## 5. 地域医療への貢献

臨床研修医は、熊本大学病院各診療科、および熊本大学病院群に参加する各施設（協力型臨床研修病院65施設、臨床研修協力施設9施設）で初期研修を行い、遠隔地、僻地等の地域医療において研修協力を行なっている。また、熊本県内外地域病院の初期臨床研修基幹プログラムを支援し、6病院（荒尾市立有明医療センター、くまもと県北病院、水俣市立総合医療センター、天草地域医療センター、熊本総合病院、宮崎県立延岡病院）の協力施設として登録し、令和5年度には16名の研修医を受け入れた。熊本県出身の自治医大卒業生を臨床研修医として採用し、将来の地域医療貢献を目指す初期研修を行っている。

## 6. 医療人教育の取組み

- 生涯教育・研修医セミナー（年6回開催、e-learning 配信）
- 心肺蘇生法講習会（JMECCを含む）
- CPC（臨床病理検討会）（年2回開催）
- 臨床カンファレンス（センター長が委員長として年3回開催）